



園だより(年少さくら組)

小田原市立下中幼稚園
令和2年11月2日

子どもたちが楽しみにしていた運動会が終わり、秋も深まってきました。戸外での活動もしやすくなり、子どもたちはリレーやドロケイなど、思い切り体を動かしながら夢中になって遊んでいます。

幼稚園へ行こう週間では、お忙しい中での参観ありがとうございました。今年度は、なかなか園生活の様子を見ていただくことができませんでしたが、運動会や参観等で子どもたちの成長を少しでも感じていただけたら嬉しいです。

運動会頑張りました！

数日前までは天気が心配でしたが、てるてるちゃんたちが頑張ってくれたのでしょうか、当日はとてもよい天気で絶好の運動会日和でしたね。

運動会当日のさくら組は、今までの練習通り、ニコニコ顔でのびのびと楽しんでいました。お客さんの前で堂々と発表できたことや、保護者の方に頑張りを認めてもらったり褒めてもらったりしたことがこれからの自信へとつながっていくと思います。たくさんの応援や拍手をありがとうございました。また、コロナ禍での運動会開催にあたり、ご理解ご協力を本当にありがとうございました。



背筋も手もピンと伸ばし、格好良く行進することができました。



『すすめ！ダンゴムシ』みんなで揃えて踊ることを意識し、友達と一緒に行う楽しさを味わいました。



友達と一緒に楽しんで走ったかけっこ。練習を重ねるにつれて、徐々に速くなっていました。



当日が待ち遠しかった『なかよし忍者おやっこ』家の人と一緒に踊るさくら組のニコニコ顔がとても印象的でした。

～運動会を通して～

運動会前、年長さんがリレーの練習をしている姿に刺激を受け、ぐるぐるとトラックを走るさくら組。次第に、「よーいドン！」と合図をし、バトンやゴールテープを持ち、自分たちで遊びを進めるようになりました。年長さんがリレーをすると聞くと、「一緒にやりたい！」と意欲的に参加し、年少年長合同でのリレーは、運動会後も続いています。リレーを通して、思い切り体を動かしたり、友達と一緒に走ったりする楽しさを感じています。また、チーム分けや作戦会議を通して、友達と一緒に活動を進めながら、自分の思いを言葉で伝えようとしたり、友達の言葉に耳を傾けようとしたりする姿も見られています。年長さんの姿に刺激を受けながら、来年つき組になったときに、今度は自分たちがリードして進めていけるようになってほしいと思います。



「順番どうしようか？」「私1番がいい！」と、みんな相談しながら走る順番を決めています。



走る順番が決まると、「せーの、おー！！」と気合を入れ、力を合わせて走る準備をします。



「よーい、どん！」教師の掛け声で走り出します。どちらのチームも真剣な表情です。



勝っても負けても、ゴールテープを切るまで、一生懸命走り抜きます。チームのみんなの応援も力になっているようです。

遊びや生活の様子

6月に植えたサツマイモが大きく成長し、収穫の時期を迎えました。みんなで力を合わせてツルを引っ張ったり、土を掘ったりしながらの収穫。子どもたちの顔程の大きな芋もありました！柿狩りも経験し、収穫の喜びを感じました。

サツマイモの収穫後は、サツマイモのツルを使って2日間に渡りジャングルごっこをしました。太鼓橋にツルをかけて、葉っぱだらけのジャングルが完成！「明日までとっておきたいけど、壊されちゃったらイヤだな…」と、クラスで相談し、他の子が登ったり入ったりしないように、囲いや貼り紙をしました。何を使うとよいか、どうやったら上手く囲えるか、どこに貼ったらよいかなど、自分たちで考えながら進めていく姿に、教師は何度も驚かされました。友達と相談したり、中心となり活動を進めたり、いろいろな提案をしたりしながら一人一人が力を発揮していました。

翌日は、橋を渡ってジャングルに向かうというイメージの中、バランスストーンなどを使って長い橋を作りました。落ちると怖いワニに食べられてしまう！と、ヒヤヒヤしながら渡るさくら組でした。



「うんとこしょ、どっこいしょ！」と、声や力を合わせてツルを引っ張ります。



掘っても掘っても出てこないと思ったら…こんなに大きな芋がとれました！



芋のツルを使って引っ張りっこや電車ごっこも楽しみました。



力を合わせて何往復もしながらツルを運び、素敵なジャングルができました。



「どこに貼ろうか？」「みんな、ここでもいい？」と、相談しながら囲いや張り紙をしています。



どうやったらもっと面白くなるか考えながら、バランスストーン等を組み合わせ、ジャングルに繋がる橋を作りました。



柿狩りも経験し、サツマイモ、柿と収穫の喜びを感じました。

ドングリの中から…



ドングリから出てきた“ソウムシ”の幼虫。クラスで相談し、飼育することになりました。毎日観察しては、「大きくなって！」と嬉しそうです。モソモソと動いている虫を発見し興奮気味のさくら組。ドングリを割ってみると、幼虫が住んでいたであろう穴があり、さらに大興奮。好奇心旺盛な子どもたちにとっては、ワクワクと心を躍らせる出来事だったのだろうと感じます。